

## 新しい内容の指導の際に必要な器具等には、どのようなものがあるか。

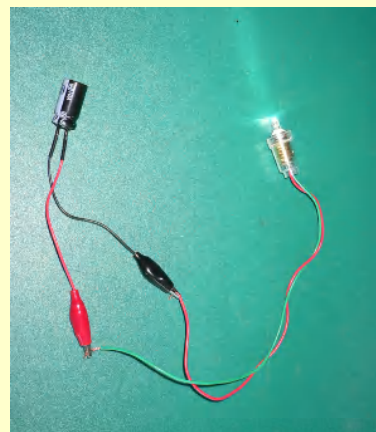
平成21年度以降の移行措置の実施に伴い、新しく加えられた内容を指導する際に必要な器具、材料は以下のようなものが考えられる。

	内 容	器 具	材 料
第3学年	A 物と重さ	てんびん 自動上皿はかり	粘土 砂 木球 鉄球 アルミニウム箔
	A 風やゴムの働き	送風機 うちわ	ゴム（ペットボトル、車輪、竹串など）
	B 身近な自然の観察	虫眼鏡 携帯型顕微鏡	
第4学年	B 人の体のつくりと運動	骨格模型	
	B 天気の様子	温度計 百葉箱 記録温度計	
第6学年	A 電気の利用（※1）	手回し発電機 電源装置	豆電球 発光ダイオード モーター 電熱線 コンデンサ（※2） 電子オルゴール
	B 月と太陽	双眼鏡 方位磁 針 望遠鏡 光源装 置	ボール 遮光板

※1 「電気の利用」は、平成22年度以降の実施となる。ただし、「電気による発熱」は、平成21年に同じ第6学年の「電流のはたらき」において加えて指導することになるため、電熱線は平成21年度から必要となる。

※2 手回し発電機によって発電し、コンデンサに蓄電できることをとらえさせるために、ここでのコンデンサにはインジケータ付きのものがよい。

手回し発電機によるコンデンサへの蓄電の様子



蓄電されたコンデンサによる発光ダイオード（ソケットタイプ）の発光の様子